

### 第一朗読 イザヤの預言 55:10-11

(主は言われる。) 雨も雪も、ひとたび天から降ればむなしく天に戻ることはない。それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ種蒔く人には種を与え食べる人には糧を与える。そのように、わたしの口から出るわたしの言葉もむなしくは、わたしのもとに戻らない。それはわたしの望むことを成し遂げわたしが与えた使命を必ず果たす。

### 第二朗読 使徒パウロのローマの教会への手紙 8:18-23

(皆さん、) 現在の苦しみは、将来わたしたちに現されるはずの栄光に比べると、取るに足りないと思えます。被造物は、神の子たちの現れるのを切に待ち望んでいます。被造物は虚無に服していますが、それは、自分の意志によるものではなく、服従させた方の意志によるものであり、同時に希望も持っています。つまり、被造物も、いつか滅びへの隷属から解放されて、神の子供たちの栄光に輝く自由にあずかれるからです。被造物がすべて今日まで、共にうめき、共に産みの苦しみを味わっていることを、わたしたちは知っています。被造物だけでなく、“霊”の初穂をいただいているわたしたちも、神の子とされること、つまり、体の贖われることを、心の中でうめきながら待ち望んでいます。

### 福音朗読 マタイによる福音 13:1-23

その日、イエスは家を出て、湖のほとりに座っておられた。すると、大勢の群衆がそばに集まって来たので、イエスは舟に乗って腰を下ろされた。群衆は皆岸辺に立っていた。イエスはたとえを用いて彼らに多くのことを語られた。「種を蒔く人が種蒔きに出て行った。蒔いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、そこは土が浅いのですぐ芽を出した。しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。ほかの種は茨の間に落ち、茨が伸びてそれをふさいでしまった。ところが、ほかの種は、良い土地に落ち、実を結んで、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍にもなった。耳のある者は聞きなさい。」

### 共同祈願 すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り

宇宙万物の造り主である神よ、  
あなたはお造りになったすべてのものをご自分の優しきで包んでくださいます。  
わたしたちが傷つけてしまった地球と、この世界で見捨てられ、  
忘れ去られた人びとの叫びに気づくことができるよう、  
一人ひとりの心を照らしてください。  
無関心を遠ざけ、貧しい人や弱い人を支え、  
ともに暮らす家である地球を大切にできるようにわたしたちの役割を示してください。  
すべてのいのちを守るため、よりよい未来をひらくために、  
聖霊の力と光でわたしたちをとらえ、あなたの愛の道具として遣わしてください。  
すべての被造物とともにあなたを賛美することができますように。  
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。